

科目名	中国語Ⅱ	授業形態	講義
英語科目名	ChineseⅡ	対象学年	1年
開講学期	2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	劉 珍	ナンバリング	
担当教員	劉 珍、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>本授業では中国語Ⅰを習得した発音の基礎を定着させつつ、中国語発音表記法であるピンインを完全にマスターすることを目指す。簡体字を正確に書き、初級文法、よく使う表現を習得します。ロールプレイ形式での会話を習得し、将来いつか使うためにより現実的なコミュニケーションができるような表現を身につける。中国語検定準4級に合格できる能力を身につける。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 声調を含む発音を正しく発音することができる。</li> <li>2. 中国語の基本的文法事項（中国語検定準4級レベル）を一通り理解し、問題を解くことができる。</li> <li>3. 自己や他者の紹介、家族、趣味など簡単な中国語で話すことができる。</li> <li>4. 時間、天候、場所、方法について、簡単な中国語で聞いたり、答えたりできる。</li> <li>5. 基本な要求、買い物、評価など相手に伝えたり、理解することができる。</li> </ol> <p>* 中国語検定試験準4級に合格するレベルに到達する。</p>		
授業の位置づけ	<p>初級で身に付けた中国語を生かし、中国語の正確な発音を身につける。中国語の基本的文法事項（中国語検定準4級レベル）を一通り理解し、問題を解くことができる。中国語を通して、国際的視野をもって活動できる基礎的能力を身につける。</p>		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>本項目を学習することで、以下の能力の基礎が身につけます。</p> <p>◎DP 1-II 人間関係を構築できるコミュニケーション能力 ◎DP 4-I 国際的視野をもっと活動できる基礎的能力</p>		

履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音声教材を繰り返し聞き、声を出して復唱する。簡体字を正しく書けるように練習する。</li> <li>2. 語順を意識しながら例文を暗記する。</li> <li>3. 付属教材のチェックシートを使い、語彙、会話文を確認する。</li> <li>4. 練習問題を解く。</li> </ol> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、復習：45分</p> <p>【注意】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音声教材を繰り返し聞き、正しい発音すること。</li> <li>2. 基本文法を理解した上、ヒヤリング、スピーキングをしっかり練習すること。</li> <li>3. 毎回の予習、復習も音声教材を活用して、声を出して繰り返し発音し、簡体字を正しく書いて、覚えること。</li> <li>4. 提出期限を守る。</li> </ol> <p>*このクラスは原則として「中国語Ⅰ」を修得した学生または、すでに中国語検定試験「準4級」以上の資格を取得している学生が履修可能です。</p> <p>*この授業の受講者は、11月に行われる「中国語検定試験 準4級」を受験することが必要です。受験料は自己負担となります。（中検の可否は中国語Ⅱの成績には影響しません。）</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	平常点（出席状況、学習態度、課題の提出、小テスト）(50%)、期末試験(50%)を統合して評価する。
------	--

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 聞き取った中国語を正確に簡体字で書ける。</li> <li>2. 日常でよくあること、身の回りのことを中国語で質問したり、答えたりできる。</li> <li>3. 学んだ文法で正しく作文することができる。</li> <li>4. 中国語の常用表現を聞き取れる、話せる。</li> <li>5. 与えられた中検問題を解くことができる。</li> </ol>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

講義内で課題、小テストやレポート等に対する解説を加えながら回答を示す。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考
使って学ぶ！中国語コミュニケーション	寺西光輝	朝日出版社	978-4-255-45327-9	

**参考文献**

図書館に文法書や辞書、中国語検定試験過去問解説本などがあります。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	授業終了後に教室あるいはチャットで質問を受け付ける。			
担当教員の実務経験				
備考				
9/26 (月) 2限	劉 珍	<p>前期の復習</p> <p>前期の総合復習 ピンイン、声調、前期に学んだ文法事項</p> <p>【到達目標】 前期の見直し、発音、文法を確認する。</p>	講義	<p>予習] (45分) 初級で学習した内容を総復習する。第1課～第6課までの本文を一度に目を通して確認する。</p> <p>[復習] (45分) 第1課～第6課までの文法を確認し、練習問題を解く。</p> <p>[キーワード] ピンイン</p>
10/3 (月) 2限	劉 珍	<p>第7課(2)</p> <p>新出単語 本文 住んでいる場所や家族について話す 何人家族ですか 文法事項 数量詞、“几”、“多少”</p> <p>【到達目標】 人や物の数、仕事について尋ねることができる。</p>	講義	<p>[予習] (45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。</p> <p>[復習] (45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。数量疑問詞の使い分けを理解し、練習問題を解く。</p> <p>[キーワード] 数量詞 “几”と“多少”使い分け</p>

10/17 (月) 2限	劉 珍	<p>第8課 (1)</p> <p>新出単語 本文 場所や存在について話す 学校にいますか 文法事項 方向補語 存在の表現</p> <p>【到達目標】場所について尋ねたり、答えたりできる。</p>	講義	<p>[予習] (45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習] (45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。結果補語の使い方を覚える。 [キーワード] 方向補語 存在の表現</p>
10/22 (土) 2限	劉 珍	<p>第8課 (2)</p> <p>新出単語 本文 場所や存在について話す 近くに病院がありますか。 文法事項 助動詞 “有”と“在”</p> <p>【到達目標】何かあるについて尋ねたり、答えたりできる。</p>	講義	<p>[予習] (45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習] (45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。「在」「有」の語順を覚える。 [キーワード] 助動詞 “有”と“在”</p>
10/24 (月) 2限	劉 珍	<p>第7～8課の応用練習</p> <p>音声を聞いて、ピンインと簡体字をかける 読解練習 学生同士によるロールプレイング</p> <p>パフォーマンス課題① 【到達目標】家族を紹介しよう</p>	講義	<p>[予習] (45分) 音声教材を用い、第7～8課の本文を音読し、内容を確認する。 [復習] (45分) 音声教材を聞き、第7～8課の練習問題、簡体字を書いて覚える。 付属教材第7～8課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。</p>
10/31 (月) 2限	劉 珍	<p>第9課 (1)</p> <p>新出単語 本文 交通手段や希望について話す いつ京都に行きますか。 文法事項 いつ、どのように、時間の長さ</p> <p>【到達目標】交通手段や所要時間を説明できる。</p>	講義	<p>[予習] (45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習] (45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。「是…的」の使い方を覚える。 [キーワード] 方法、手段 時量補語</p>

11/7 (月) 2限	劉 珍	<p>第9課(2)</p> <p>新出単語 本文 交通手段や希望について話す どのくらい時間がかかりますか 文法事項 前置詞、願望文</p> <p>【到達目標】何がしたいか、その理由を説明できる。</p>	講義	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。能願動詞「想」の練習。 [キーワード] 命令文 願望文</p>
11/21 (月) 2限	劉 珍	<p>第10課(1)</p> <p>新出単語 本文 動作の発生や進行について話す 彼女に見かけましたか 文法事項 助詞、過去形</p> <p>【到達目標】過去に行動や動作について話せる。</p>	講義	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。結果補語の使い方を確認する。 [キーワード] 結果補語 過去形</p>
11/26 (土) 2限	劉 珍	<p>第10課(2)</p> <p>新出単語 本文 動作の発生や進行について話す 何をしていますか。 文法事項 進行形</p> <p>【到達目標】動作の進行について確認したり、答えたりできる。</p>	講義	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。練習問題を解く。 [キーワード] 進行形</p>
11/28 (月) 2限	劉 珍	<p>第9～10課の応用練習</p> <p>音声を聞いて、ピンインと簡体字をかける 読解練習 学生同士によるロールプレイング</p> <p>パフォーマンス課題② 【到達目標】自己紹介をしよう</p>	講義	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、第9～10課の本文を音読し、内容を確認する。 [復習](45分) 音声教材を聞き、第9～10課の練習問題、簡体字を書いて覚える。 付属教材第9～10課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。</p>

12/5 (月) 2限	劉 珍	<p>第11課(1)</p> <p>新出単語 本文 過去の出来事や値段について話す 文法事項 過去形、“是…的”構文</p> <p>【到達目標】過去の出来事について、いつ、どこで、どのように～したのかが説明できる。</p>	講義	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。人民元の言い方を覚える。 [キーワード] 過去形 “是…的”構文</p>
12/12 (月) 2限	劉 珍	<p>第11課(2)</p> <p>新出単語 本文 過去の出来事や値段について話す いつ買ったのですか 文法事項 数量補語、値段の言い方</p> <p>【到達目標】複数の物について説明できる。 基本的な買い物のやりとりができる。</p>	講義	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 [キーワード] 数量補語 値段の言い方</p>
12/19 (月) 2限	劉 珍	<p>第11課の復習 補充内容</p> <p>新出単語 本文 インフルエンザワクチンを接種する 文法事項 病状の言い方</p> <p>【到達目標】身体の状態、調子について確認したり、答えたりできる。</p>	講義	<p>[予習](45分) 補充教材を用い、単語と本文を目に通しておく、内容を把握する。 [復習](45分) 単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 付属教材第11課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。 [キーワード] 病状の言い方</p>

<p>1/13 (金) 2限</p>	<p>劉 珍</p>	<p>後期のまとめと復習 ヒヤリング、スピーキングの練習  Can-do 達成の確認 【到達目標】学んだ表現をしっかり身につける。</p>	<p>講義</p>	<p>[予習] (45分) 後期学んだ語彙や表現に目を通しておく。 [復習] (45分) 授業で学んだことをしっかり覚える。付属教材Can-doシートを使い、到達目標と表現例を見ながら、できるかどうか確認しましょう。 後期期末試験に備える。</p>










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	ドイツ語Ⅱ	授業形態	
英語科目名	GermanⅡ	対象学年	1年
開講学期	2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	五十嵐 豊	ナンバリング	LNG1112
担当教員	五十嵐 豊、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	初級文法の完成を目指すとともに、ドイツ語を「読む・書く・聞く・話す」上で必要な力をバランス良く身につけていく。また、言語のみならず、ドイツ語圏の文化、社会、地理などにも広く目を向け、関心と理解を深める。		
到達目標	<p>【一般目標】 指定の教科書を用いながら、ドイツ語文法の基礎段階を完成させる。また、ドイツ語の基本的な会話表現や聞き取りの力を身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ドイツ語の基本的文法事項（ドイツ語検定4級程度）を一通り理解し、問題を解くことができる。</li> <li>2. 語彙の幅を広げるとともに、短めのテキストを読んでその内容を理解したり、簡単な文や会話を作ることができる。</li> <li>3. 日常のさまざまな場面で用いられる基本的な表現を覚え、簡単な質問や受け答えをすることができる。</li> <li>4. ドイツ語技能検定試験4級以上を取得する。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		



履修上の注意、履修要件	<p>【履修上の注意】 Zoomを通じたオンライン授業。初習言語の場合、最も重要なことは「継続的に学習すること」である。まずは毎回きちんと授業に出席し、発音練習や会話練習などのトレーニングを積極的に実践してほしい。その上で、その回の授業内容を復習するための課題にもきちんと取り組むこと。 また、授業期間内に学習内容が身についているかを確認する小テストを行う予定であるので、しっかり準備して臨むこと。</p> <p>* この授業は、「ドイツ語Ⅰ」を修得した学生または「ドイツ語技能検定試験」5級を取得済みの学生を対象とします。 * この授業の受講者は、12月に行われる「2022年度冬期ドイツ語技能検定試験」（独検）を受験する必要があります。受験料は自己負担となります。授業内でも独検対策のトレーニングを適宜行います。（独検の可否はドイツ語Ⅱの成績には影響しません。）</p> <p>【課題について】 毎回の課題のやりとり及び授業に関する連絡などは、基本的にGoogle Classroomを通じて行う予定である。</p>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>【成績評価方法】 授業への参加度、授業中の小テスト（1～2回）、課題提出など「平常点」を50%、「最終課題」の結果を50%として扱い、その合計によって成績評価を行う。</p>
------	--

評価基準	<p>【成績評価基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な文法事項や語彙を身につけ、さまざまな問題を解くことができる。（最終課題）</li> <li>2. 授業中の受け答え、練習問題、発音練習、ペア練習などへの取り組み状況による授業参加度評価（平常点）</li> <li>3. 授業内の学習内容を復習する課題への取り組み（平常点）</li> <li>4. 学習を終えた文法事項や語彙などが身についているかを確認する小テスト（平常点）</li> </ol>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

<p>【毎回の課題について】 毎回の授業後、その回の授業内容を復習するための課題をGoogle Classroomを通じて出すので、これに取り組み、提出すること。 提出された課題は、添削し返却する。返却時、各受講生にあてた助言を添えてフィードバックを行う。</p> <p>【授業内で行う小テストについて】 小テスト実施後、授業内及びGoogle Classroomを通じて全体に向けた解説を行う。</p>
--

テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
イン・ドイチュラント メーション	秋田静男・江口陽子他	朝日出版社	978-4-255-25388-6	「ドイツ語Ⅰ」で使用したものを引き続き使用する。

参考文献

<p>独和辞典</p>
-------------

その他	
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】          担当：五十嵐豊（いがらし ゆたか）          E-mail: y-igarashi[at]juntendo.ac.jp          * [at]部分を@に変更してください。</p>
担当教員の実務経験	—
備考	<p>授業内容の復習のために、教科書に収録されている練習問題や関連問題などの課題を出すので、ウェブを通じて提出すること。また、教科書の音声教材や映像教材を利用しながら、例文の音読練習にも取り組むこと。          【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、復習：45分</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
9/22 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】ガイダンス、前期のおさらい            【サブ・タイトル】手持ちの語彙や表現を用いて会話してみよう            【キーワード】ドイツ語学習、独検（ドイツ語検定試験）、会話練習            【到達目標】授業の進め方、スケジュール、履修上の注意などを確認する。前期に学んだ文法事項などを振り返り、弱点を確認する。</p>	<p>演習            【注意点】            ・自分の目標を定めよう。            ・頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】            ・「ドイツ語 I」で学んだ事柄を教科書で確認しておく。            ・音声教材を用いて音読練習を行う。            【復習：45分】            ・学習した文法事項を整理しておく。            ・課題に取り組む。</p>
9/29 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】LEKTION 7            【サブ・タイトル】前置詞            【キーワード】前置詞、格支配            【到達目標】前置詞の格支配を理解し、正しく使いこなすことができる。</p>	<p>演習            【注意点】頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】            ・教科書の該当ページに目を通しておく。            ・音声教材を用いて音読練習を行う。            【復習：45分】            ・学習した文法事項を整理しておく。            ・課題に取り組む。</p>

<p>10/6 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 7  【サブ・タイトル】 前置詞、前置詞と定冠詞の融合形  【キーワード】 前置詞、前置詞と定冠詞の融合形、文法練習問題、発音練習、会話練習  【到達目標】 前置詞と定冠詞の融合形を正しく使いこなすことができる。学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
<p>10/13 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 8  【サブ・タイトル】 話法の助動詞①  【キーワード】 話法の助動詞、枠構造  【到達目標】 話法の助動詞の意味、用法を理解し、正しく現在人称変化させることができる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
<p>10/20 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 8  【サブ・タイトル】 話法の助動詞②  【キーワード】 話法の助動詞、枠構造  【到達目標】 話法の助動詞の意味、用法を理解し、正しく現在人称変化させることができる。話法の助動詞を用いた文を作ったり書き換えたりすることができる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
<p>10/27 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 8  【サブ・タイトル】 話法の助動詞③、練習  【キーワード】 話法の助動詞、文法練習問題、発音練習、会話練習  【到達目標】 練習問題を通じ、話法の助動詞の使い方を身につける。学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>

<p>11/10 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 9  【サブ・タイトル】 分離動詞、命令形  【キーワード】 分離動詞、命令形  【到達目標】 分離動詞、命令形を正しく使うことができる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
<p>11/24 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 9  【サブ・タイトル】 時刻の表現、練習  【キーワード】 文法練習問題、発音練習、会話練習  【到達目標】 時刻の表現を覚える。学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
<p>12/1 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 10  【サブ・タイトル】 形容詞の格変化（1・4格）  【キーワード】 形容詞、付加語的用法  【到達目標】 形容詞の付加語的用法を理解する。練習問題を通じ、形容詞の付加語的用法を身につける。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
<p>12/8 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 10  【サブ・タイトル】 再帰表現  【キーワード】 再帰代名詞、再帰動詞  【到達目標】 再帰の仕組みを理解する。練習問題を通じ、再帰表現を身につける。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>

<p>12/15 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 11  【サブ・タイトル】 動詞の3基本形  【キーワード】 不定詞、過去基本形、過去分詞  【到達目標】 動詞の3基本形の作り方、調べ方を覚える。基本的動詞の3基本形を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
<p>12/22 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 11  【サブ・タイトル】 過去形  【キーワード】 過去形、過去人称変化  【到達目標】 過去人称変化を覚え、過去形を使うことができる。過去形を用いて簡単な文を作ることができる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
<p>1/5 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 12  【サブ・タイトル】 現在完了  【キーワード】 現在完了、完了の助動詞、過去分詞  【到達目標】 現在完了の仕組みを理解する。現在完了を用いた簡単な文を作ることができる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>

<p>1/12 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 12  【サブ・タイトル】 現在完了、練習  【キーワード】 現在完了、文法練習問題、発音練習、会話練習  【到達目標】 練習問題を通じ、現在完了の基本を身につける。現在完了を用いた簡単なやりとりができるようになる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。最終課題について、提出方法や期限などを確認しよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	フランス語Ⅱ	授業形態	
英語科目名	FrenchⅡ	対象学年	1年
開講学期	2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	竹内 京子	ナンバリング	LNG1114
担当教員	竹内 京子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	フランス語による日常会話のための基礎的な文法、語彙、表現を学び、実際の会話においてどのように使われているかをスキットを通して学ぶ。また、フランス語が使われている国の文化、習慣、ものの考え方などについて理解を深め、グローバルな視点を養う。実用フランス語検定試験4級・5級の試験対策も行う。		
到達目標	<p>[一般目標] フランス語のことばのしくみ、文法、語彙、表現を学び、簡単な会話ができるようになること。前期修得できた学生のみフランス語Ⅱの受講が可能となる。</p> <p>[到達目標] 1. フランス語であいさつ、自己紹介ができるようになる。 2. フランス語で買い物、簡単な応答ができるようになる。 3. フランス語で簡単な事務書類を書くことができるようになる。 4. フランス語の初級文法を理解できるようになる。 5. フランス語を使う国の文化や歴史に興味を持つようになる。</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<p>このクラスは原則として「フランス語Ⅰ」を修得した学生またはすでに実用フランス語検定試験5級を取得している学生が履修可能である。</p> <p>初めて学習する言語であるので一回欠席すると分からなくなる。できれば全出席が望ましい。</p> <p>* この授業の受講者は、11月に行われる「2022年度秋季実用フランス語検定試験」（仏検）を受験する必要があります。受験料は自己負担となります。（試験の合否はフランス語Ⅱの成績には影響しません。）</p>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>出席が全授業の3分の2以上あることが条件。平常点（小テスト・課題など）＋口答テスト＋筆記テストの総合評価、合計が60%以上を合格とする。詳細は授業中に説明する。</p>
------	---

評価基準	<p>個別試験や総合試験の結果、実習等を基に総合的な理解度を見て判定する。</p>
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

<p>課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。</p>
--

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考
パスカル・オ・ジャポン	藤田裕二	白水社	9784560060834	購入必須

参考文献

<p>辞書や参考書は授業中に紹介する。</p>
-------------------------



その他	
連絡先・オフィスアワー	メールで日程を相談の上、授業時間後に非常勤講師室で対応する
担当教員の実務経験	-
備考	毎回の授業後に宿題や課題があり、次回の授業で小テストを行うので復習は必ずすること。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、復習：45分 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
9/26 月 2限	竹内 京子	【授業タイトル】前学期の復習 Leçon 5-8 【到達目標】前期の内容の確認。	演習  【注意点】授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。	前学期の復習をしておく。
10/3 月 2限	竹内 京子	【授業タイトル】Leçon 9-1、Leçon 9-2 【サブ・タイトル】家族を語る 【キーワード】否定文における冠詞の変形・女性形容詞の特殊な形 【到達目標】否定文における冠詞の変形・女性形容詞の特殊な形を覚える。	演習  【注意点】授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。	復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。

10/17 月 2限	竹内 京子	【授業タイトル】 Leçon 10-1、Leçon 10-2 【サブ・タイトル】 年齢を言う 【キーワード】 数字1-30・疑問副詞 【到達目標】 数字1-30・疑問副詞を覚える。	演習 【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。	復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。
10/22 土 2限	竹内 京子	【授業タイトル】 Leçon 11-1、Leçon 11-2 【サブ・タイトル】 時刻を言う 【キーワード】 時刻の言い方・時の前置詞・finir, partir 【到達目標】 時刻の言い方・時の前置詞・finir, partirの活用を覚える。	演習 【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。	復習：数字(20-1000)を覚えておく。会話部分を読めるようにする。
10/24 月 2限	竹内 京子	【授業タイトル】 Leçon 9-11のまとめ1、Leçon 9-11のまとめ2	演習 【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。	Leçon 9-11の疑問点を探しておく。
10/31 月 2限	竹内 京子	【授業タイトル】 Leçon 12-1、Leçon 12-2 【サブ・タイトル】 紹介する 【キーワード】 補語人称代名詞・指示代名詞ça, attendre 【到達目標】 補語人称代名詞・指示代名詞ça, attendreの活用を覚える。	演習 【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。	復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。

<p>11/7 月 2限</p>		<p>【授業タイトル】 Leçon 13-1、Leçon 13-2  【サブ・タイトル】 日常生活の表現  【キーワード】 代名動詞・近接未来と近接過去、aller, venir  【到達目標】 代名動詞・近接未来と近接過去、aller, venirの活用を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>
<p>11/21 月 2限</p>	<p>竹内 京子</p>	<p>【授業タイトル】 Leçon 14-1、Leçon 14-2  【サブ・タイトル】 量を表す  【キーワード】 部分冠詞、中性代名詞en, boire  【到達目標】 部分冠詞、中性代名詞en, boireの活用を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>
<p>11/26 土 2限</p>	<p>竹内 京子</p>	<p>【授業タイトル】 Leçon 15-1、Leçon 15-2  【サブ・タイトル】 天候を言う  【キーワード】 命令形・中性代名詞y, 天候の表現、voir  【到達目標】 命令形・中性代名詞y, 天候の表現、voirの活用を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>
<p>11/28 月 2限</p>	<p>竹内 京子</p>	<p>【授業タイトル】 Leçon 16-1、Leçon 16-2  【サブ・タイトル】 比較する  【キーワード】 比較級、指示代名詞celui, celle  【到達目標】 比較級、指示代名詞celui, celleの使い方を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>

<p>12/5 月 2限</p>	<p>竹内 京子</p>	<p>【授業タイトル】 Leçon 17、 【サブ・タイトル】 過去のことを語る 【キーワード】 複合過去形 【到達目標】 複合過去形の活用を覚える。</p> <p>【授業タイトル】 Leçon 18 【サブ・タイトル】 未来のことを語る 【キーワード】 単純未来形 【到達目標】 単純未来形の活用を覚える。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>
<p>12/12 月 2限</p>	<p>竹内 京子</p>	<p>【授業タイトル】 期末口答テスト</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>口答の試験内容を覚える。</p>
<p>12/19 月 2限</p>	<p>竹内 京子</p>	<p>【授業タイトル】 期末筆記テスト</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>後期の総復習をしておく。</p>

1/13 金 2限	竹内 京子	【授業タイトル】予備日	演習 【注意点】授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。	後期の総復習をしておく。










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL特別演習 III	授業形態	
英語科目名	TOEFL Special Practice III	対象学年	1年
開講学期	2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	鈴木田 優衣	ナンバリング	
担当教員	鈴木田 優衣、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>この授業では、TOEFL (Test of English as a Foreign language) の ITP (Institutional Testing Program) と TOEFL iBT (Internet-based test) の受験に必要な、アカデミック英語運用能力を育成するための演習を行う。TOEFL iBTに特に焦点を当て、内容把握のためのReading, Listening活動、要約や議論などのSpeaking, Writing活動を行う。</p> <p>注意：学生が英語に没頭するために、この授業のインストラクションはほぼ英語で行われます。</p> <p>TOEFL特別演習 I (ABC) で伸ばしたアカデミック英語運用能力をさらに強化する演習を行う。 TOEFL特別演習 I (ABC) を受講後に、本授業を受講することが望ましい。</p>		
到達目標	<p>[一般目標] TOEFL ITPとTOEFL iBTの受験で必要とされ、英語を使用したコミュニケーションで必須となるアカデミックな英語運用能力を伸ばすことができる。</p> <p>[到達目標] 1. TOEFL ITP と TOEFL iBTの構成と傾向を把握することができる。 2. TOEFL ITP と TOEFL iBTに向けた英語運用能力を伸ばすことができる。 3. Reading, Listening, Writing, Speakingの技能を伸ばすための学習方略を習得できる。 4. 主に海外の医療・教育機関で学んだり研究したりする際に必要な、アカデミック領域での基礎的な英語運用能力を習得できる。 5. アカデミック領域で必要とされる、英語での基礎的な議論・表現方法を習得できる。</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週宿題として多くの課題が課される。課題はオンラインの学習課題を含む。</li> <li>・演習への積極的な参加が求められる。</li> <li>・3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。</li> <li>・受講希望者が多い場合には、人数制限をすることがある。初回の授業に出席すること。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法：以下に基づき、総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業内活動（出席、積極的な参加、課題） 55%</li> <li>②小テスト・宿題 25%</li> <li>③定期テスト 20%</li> </ul>
------	---

評価基準	<p>成績評価基準：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. TOEFL ITP と TOEFL iBTの構成と傾向を把握し、学習方略を習得できる (①～②)</li> <li>2. TOEFL ITP と TOEFL iBTに向けた英語運用能力を養い、スコアを伸ばすことができる。アカデミック領域での基礎的な英語運用能力、基礎的な議論・表現方法を習得できる (①～③)</li> </ul>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

小テストやレポート等を含む課題に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】Phillips, D. (2015). Longman preparation course for the TOEFL iBT® test with Answer Key (3rd ed., Student book with MyLab Access and MP3 Audio). Pearson.

以下のISBNを使用して、適切な教科書を購入してください。  
 ISBN 10: 0-13-324812-7  
 ISBN 13: 978-0-13-324802-9

詳細は授業時に指示する。

その他	
連絡先・オフィスアワー	授業中に指示する。
担当教員の実務経験	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題としての学習が毎週課され、定期的の小テストが行われるので準備しておくこと。</li> <li>・詳細は授業時に指示する。</li> </ul> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
9/16 金 2限	鈴木田優衣	<p>【授業タイトル】 Course introduction  【サブ・タイトル】 Orientation  【キーワード】 Overview  【到達目標】 この授業の目的、課題の内容、評価方法について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  以降の授業内容については受講者の興味等により調整を行う。</p>	<p>今までの自分のTOEFLテストに向けた英語学習の方法等について振り返っておく。</p>
9/30 金 2限	鈴木田優衣	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 1  【サブ・タイトル】 Production practice, Feedback  【キーワード】 Independent tasks  【到達目標】決められた時間内に考えをまとめ、話すことができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 1  【サブ・タイトル】 Note-taking  【キーワード】 Test structure and format  【到達目標】 TOEFL iBTの構成と傾向を理解することができる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>



<p>10/7 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 2 【サブ・タイトル】 Production practice, Feedback 【キーワード】 Independent tasks 【到達目標】 決められた時間内に考えをまとめ、話すことができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 Understand the gist 【キーワード】 Test structure and format 【到達目標】 リーディング・ライティング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。</p>
<p>10/14 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 3 【サブ・タイトル】 Production practice, Feedback 【キーワード】 Independent tasks 【到達目標】 決められた時間内に考えをまとめ、話すことができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 2 【サブ・タイトル】 Repeating 【キーワード】 Extensive listening 【到達目標】 復習としての応用課題と、予習課題を行う。内容は授業時に指示する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。</p>
<p>10/21 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 4 【サブ・タイトル】 Production practice, Feedback 【キーワード】 Independent tasks 【到達目標】 決められた時間内に考えをまとめ、話すことができる。</p> <p>【授業タイトル】 Writing activity 1 【サブ・タイトル】 Writing based on listening 【キーワード】 Writing under time pressure 【到達目標】 英語での基礎的な議論方法、表現方法を理解することができる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。</p>
<p>10/28 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 5 【サブ・タイトル】 Production practice, Feedback 【キーワード】 Integrated tasks 【到達目標】 英語での基礎的な議論、表現方法を理解することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 Understand the main topic 【キーワード】 Extensive reading 【到達目標】 復習としての応用課題と、予習課題を行う。内容は授業時に指示する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。</p>

<p>11/4 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 6 【サブ・タイトル】 Production practice, Feedback 【キーワード】 Independent tasks 【到達目標】 決められた時間内に考えをまとめ、話すことができる。</p> <p>【授業タイトル】 Writing activity 2 【サブ・タイトル】 Introduction and conclusion 【キーワード】 Independent tasks 【到達目標】 TOEFL iBTの設問構成と解法を理解できる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。</p>
<p>11/11 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 7 【サブ・タイトル】 Production practice, Feedback 【キーワード】 Speaking under time pressure 【到達目標】 アカデミック領域での基礎的な英語運用能力を高める方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 3 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Intensive listening 【到達目標】 リスニング力と正確な発音を伸ばさせる方法を実践することができる</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。</p>
<p>11/25 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 Understand the gist 【キーワード】 Intensive reading 【到達目標】 リーディング・ライティング力を効果的に伸ばさせる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Grammar activity 【サブ・タイトル】 Fill-in-the-blank questions 【キーワード】 Complex structure 【到達目標】 リーディング・ライティング力を効果的に伸ばさせる方法を実践することができる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>TOEFL ITPに向けて構成と傾向を再確認することができる。</p>
<p>12/2 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 Discourse markers 【キーワード】 Active listening, note-taking 【到達目標】 リスニング・スピーキング力を効果的に伸ばさせる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Writing activity 3 【サブ・タイトル】 Writing based on reading 【キーワード】 Integrated tasks 【到達目標】 英語での基礎的な議論方法、表現方法を理解することができる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。</p>

<p>12/9 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Writing activity 4 【サブ・タイトル】 Writing based on listening and reading 【キーワード】 Integrated tasks 【到達目標】 アカデミック領域での基礎的な英語運用能力を高める方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 Understand the main topic 【キーワード】 Summarizing, paraphrasing 【到達目標】 リーディング・ライティング力を効果的に伸ばさせる方法を実践することができる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>TOEFL ITPの文法・語彙問題の予習を行う。</p>
<p>12/16 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Topic development 【到達目標】 TOEFL受験に向けて、英語運用能力を向上させることができる。</p> <p>【授業タイトル】 Writing activity 5 【サブ・タイトル】 Writing based on listening and reading 【キーワード】 Integrated tasks 【到達目標】 TOEFL受験に向けて、英語運用能力を向上させることができる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>【授業タイトル】 Speaking mock exam 【サブ・タイトル】 Production skill 【キーワード】 revision 【到達目標】 決められた時間内にTOEFL iBTのスピーキングセクションを完了する。</p> <p>【授業タイトル】 Reading mock exam 【サブ・タイトル】 Reading skill 【キーワード】 revision 【到達目標】 決められた時間内にTOEFL iBTのReadingセクションを完了する。</p>
<p>12/23 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Listening mock exam 【サブ・タイトル】 Listening skill 【キーワード】 revision 【到達目標】 決められた時間内にTOEFL iBTのListening セクションを完了する。</p> <p>【授業タイトル】 Writing mock exam 【サブ・タイトル】 Writing skill 【キーワード】 revision 【到達目標】 決められた時間内にTOEFL iBTのWritingセクションを完了する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	

<p>1/6 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Review of TOEFL ITP I  【サブ・タイトル】 Review of the lessons  【キーワード】 Active listening, asking adequate questions  【到達目標】 TOEFL ITPの受験方法を復習し、学習した方略を利用できる。</p> <p>【授業タイトル】 Review of TOEFL ITP II  【サブ・タイトル】 Review of the lessons  【キーワード】 Active listening, asking adequate questions  【到達目標】 TOEFL ITPの受験方法を復習し、学習した方略を利用できる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>自己のパフォーマンスを振り返る。</p>










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL特別演習 IV	授業形態	
英語科目名	TOEFL Special Practice IV	対象学年	1年
開講学期	2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	藤田 亮子	ナンバリング	
担当教員	藤田 亮子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	TOEFLスコアは、主に北米の教育・医療機関へ留学したり医療に関わったり研究したりする際に必要である。本授業では、高いTOEFLスコアを取得するために必要な演習を行う。		
到達目標	<p>[一般目標] TOEFL ITP (PBT) とiBTの構成と傾向を把握するとともに、英語運用能力を養いスコアを伸ばすことができる。</p> <p>[到達目標] 1. TOEFL ITP (PBT) とTOEFL iBTの構成と傾向を理解することができる。 2. リスニング・リーディング・スピーキング・ライティング力を効果的に伸長させる方法を知り、実践することができる。 3. 主に北米の教育・医療機関で学んだり医療に関わったり研究したりする際に必要なアカデミック領域で求められる基礎的な英語運用能力を獲得できる。</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隔週、課題が課され、小テストも行う。</li> <li>・ 演習への積極的な参加が求められる。</li> <li>・ 3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格がないため単位修得が認められない。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法： 原則として、以下のものを参考に総合的に判定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Class activities 70%: <ul style="list-style-type: none"> <li>内、Active participation 20%</li> <li>Quiz 20%</li> <li>Assignment 30%</li> </ul> </li> <li>・ End-of-term exam: 30%</li> </ul>
------	--

評価基準	<p>成績評価基準： 授業内課題や期末テスト等を基に、総合的な理解度・到達度を見て判定する。</p>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】 授業時に指示する。  
Bruce Rogers 著；渡辺雅仁、角田麻里 編『A Practical Guide to the TOEFL ITP』 東京：センゲージラーニング株式会社

【参考教科書】

- ・ 林功 (2012). 『全問正解するTOEFL ITP TEST文法問題対策』 東京：語研
- ・ 宮野智靖・ジョセフ ルリアス・木村ゆみ (2011). 『TOEFL ITP TESTリスニング完全攻略』 東京：語研

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】            担当： 藤田亮子            E-mail： r-fujita[at]juntendo.ac.jp            [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 金曜日 昼休み</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>・ 毎回小テストの準備をしておくこと。            ・ 毎回出される課題に取り組むこと。            【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>			
9/16 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Introduction            【サブ・タイトル】 Course introduction            【キーワード】 Introduction            【到達目標】 コースの概要と目標、TOEFL受験についての理解を深めることができる。</p> <p>【授業タイトル】 Introduction            【サブ・タイトル】 Course introduction            【キーワード】 TOEFL ITP            【到達目標】 サンプル問題を理解することができる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】            以降の授業内容については受講者のレベルにより調整を行う可能性がある。</p>	<p>教科書の復習            苦手な箇所の確認</p>
9/30 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 1            【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 1            【キーワード】 Dialogs involving agreement and disagreement            【到達目標】 TOEFL ITP (PBT) とTOEFL iBTの構成と傾向を理解することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 1            【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 1            【キーワード】 Rapid Reading            【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】            間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題            リスニング問題の復習</p>

10/7 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 2 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 2 【キーワード】 Incomplete infinitive and gerund phrases 【到達目標】 TOEFL iBTの構成と傾向を理解することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 2 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 2 【キーワード】 Extensive Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
10/14 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 3 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 3 【キーワード】 Dialogs involving suggestions, invitations, and offers 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 3 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 3 【キーワード】 Rapid Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
10/21 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 4 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 4 【キーワード】 Items involving parallel structures 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 4 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 4 【キーワード】 Extensive Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
10/28 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 5 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 5 【キーワード】 Dialogs involving contradictions, assumptions, and questions 【到達目標】 リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 5 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 5 【キーワード】 Rapid Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>



<p>11/4 金 2限</p>	<p>藤田 亮子</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 6 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 6 【キーワード】 Items involving misplaced modifiers 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 6 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 6 【キーワード】 Extensive Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
<p>11/11 金 2限</p>	<p>藤田 亮子</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 7 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 7 【キーワード】 Answering questions about activities, plans, and questions 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 7 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 7 【キーワード】 Rapid Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
<p>11/25 金 2限</p>	<p>藤田 亮子</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 8 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 8 【キーワード】 Incomplete or missing comparisons 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 8 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 8 【キーワード】 Extensive Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
<p>12/2 金 2限</p>	<p>藤田 亮子</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 9 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 9 【キーワード】 Dialogs with special verbs 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 9 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 9 【キーワード】 Rapid Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>

<p>12/9 金 2限</p>	<p>藤田 亮子</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 10 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 10 【キーワード】 Missing conjunctions 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 10 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 10 【キーワード】 Extensive Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
<p>12/16 金 2限</p>	<p>藤田 亮子</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 11 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 11 【キーワード】 Answering overview questions about extended conversations 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 11 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 11 【キーワード】 Rapid Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
<p>12/23 金 2限</p>	<p>藤田 亮子</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 12 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 12 【キーワード】 Missing negative words 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 12 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 12 【キーワード】 Extensive Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>

1/6金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Final Exam  【サブ・タイトル】 Listening, reading, speaking, and writing  【キーワード】 Testing Strategy  【到達目標】 これまでに習得した技能を応用できる。</p> <p>【授業タイトル】 Final Exam  【サブ・タイトル】 Listening, reading, speaking, and writing  【キーワード】 Testing Strategy  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>期末テストの準備</p>










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Academic English for TOEFL V	授業形態	
英語科目名	Academic English for TOEFL V	対象学年	1年
開講学期	2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Joseph Drakos	ナンバリング	
担当教員	Joseph Drakos、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>Course Title: The Culture of Medicine</p> <p>This course introduces students to the fields of medical anthropology and ethnomedicine. The course is meant to compliment the Origins of Medicine course. Students will follow a more analytical approach to medicine by learning about medical concepts and procedures unique to various cultures and regions of the world. The overall aim of the course is to help students understand that medical treatment is viewed differently around the world. Therefore, they may possibly take a more compassionate attitude when participating in overseas medical ventures or dealing with patients from cultural backgrounds other than their own. On a tertiary note, students will have an opportunity to experience a classroom environment similar to those found in US universities. They will also have opportunities to improve their listening, speaking and composition skills in English.</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <p>1. Students will gain an understanding of how cultural beliefs and behaviors influence medicine and health care practices . 2. Students will learn how to listen to lectures and take adequate notes in English. 3. Students will learn how to prepare and give their own lectures.</p> <p>[到達目標]</p> <p>1. Students will experience tasks similar to those found on the TOEFL iBT test.  2. Students will improve skills necessary to successfully encounter the listening &amp; reading sections of the test.  3. Students will improve presentation skills and composition skills.</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ The class will be conducted only in English.</li> <li>・ Lecture classes will include discussion sessions, hence active participation is encouraged.</li> <li>・ Practice class participation is important to the participation grade.</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法：</p> <p>Grades will be based on a collection of points from the lecture notes(25), quizzes(30) and research activity/ discussion forums(30). Attendance and participation will also be a determining factor in the final grade (15).</p>
------	--

評価基準	<p>成績評価基準：</p> <p>個別試験や総合試験の結果、実習等を基に総合的な理解度を見て判定する。</p>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
 ・ To be announced during each class.

【参考教科書】  
 ・ To be announced.

【参考書】  
 ・ To be announced.

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	Email address: juntendojoe@gmail.com			
担当教員の実務経験				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Students should take time to familiarize themselves about the topics of each lecture. Finding extra information about the topics is recommended.</li> <li>・ They should prepare ideas, opinions, comments and questions to present in group discussion.</li> </ul> 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：50分， 復習：50分			
9/22 木 4限	Joseph Drakos	【授業タイトル】 Introduction to course 【サブ・タイトル】 Course goals and foci 【キーワード】 Syllabus intro 【到達目標】 Students can understand the course content and personal goals for the course	Lecture	Prepare to talk about self and goals in this class.
9/29 木 4限	Joseph Drakos	【授業タイトル】 Introduction to Medical Anthropology and Ethnomedicine 【サブ・タイトル】 Medicine as a Topic of Culture Study 【キーワード】 Anthropology, Medicine, Culture 【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material.	Lecture 【注意点】 Students should prepare to ask questions and take detailed notes.	Prepare by finding information on the web.

<p>10/6 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 The Human Genome  【サブ・タイトル】 Evolution of Humans  【キーワード】 Evolution, primate family  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material.</p>	<p>Lecture  【注意点】  Students should prepare to ask questions, participate in discussion and take detailed notes.</p>	<p>Prepare by finding information on the web.</p>
<p>10/13 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 The Physician Through the Ages  【サブ・タイトル】 The Medicine Religion Relationship  【キーワード】 Shaman, Priest Physician, Country Doctor  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material.</p>	<p>Lecture  【注意点】  Students should prepare to ask questions, participate in discussion and take detailed notes.</p>	<p>Prepare by finding information on the web.</p>
<p>10/20 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Ethnomedicine Part 1  【サブ・タイトル】 Nature, The Body &amp; Medicine  【キーワード】 Early Medical Theories  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material.</p>	<p>Lecture  【注意点】  Students should prepare to ask questions, participate in discussions and take detailed notes.</p>	<p>Prepare by finding information on the web.</p>
<p>10/27 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Quiz 1  【サブ・タイトル】 Quiz on First 4 Lectures  【キーワード】 QUIZ  【到達目標】 Students can demonstrate learned knowledge</p>	<p>Quiz</p>	<p>Study notes and Power Point slides</p>

11/10 木 4限	Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Ethnomedicine Part 2  【サブ・タイトル】 Cultural Beliefs in Health Care  【キーワード】 Unique Health Care Traditions  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material.</p>	<p>Lecture</p> <p>【注意点】  Students should prepare to ask questions, participate in discussions and take detailed notes.</p>	Prepare by finding information on the web.
11/24 木 4限	Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Basics of Holistic Healing Pt. 1  【サブ・タイトル】 Apothecary, herbal treatments  【キーワード】 Learning through practice  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material.</p>	<p>Interactivity</p> <p>【注意点】  Students should try to create examples taught by teacher.</p>	Prepare by finding information on the web.
12/1 木 4限	Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Basics of Holistic Healing Pt. 2  【サブ・タイトル】 Physical applications  【キーワード】 Massage Therapy, Acupoints  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material.</p>	<p>Interactivity</p> <p>【注意点】  Students to try to remember techniques taught by the teacher.</p>	Prepare by finding information on the web.
12/8 木 4限	Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Death Care  【サブ・タイトル】 Cultural Views of Death and Internment  【キーワード】 Afterlife  【到達目標】 Students can understand contents based on material</p>	<p>Lecture</p> <p>【注意点】  Students should prepare to ask questions, participate in discussions and take detailed notes.</p>	Prepare by finding information on the web.



<p>12/15 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Personal Research Activity  【サブ・タイトル】 Research in Medicine and Culture  【キーワード】 Medicine culture examination  【到達目標】 Students will choose a topic, research and report on it.</p>	<p>Activity  【注意点】  Students should participate as much as possible.</p>	<p>Prepare by finding information on the web.</p>
<p>12/22 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Research day  【サブ・タイトル】 Individual Preparation  【キーワード】 Research  【到達目標】 Students can understand basic concepts of chosen topic, develop report, write synopsis for grade.</p>	<p>Activity  【注意点】  Students should continue preparations for report and discussion forum.</p>	<p>Prepare by finding information on the web.</p>
<p>1/5 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Group Discussion Forum  【サブ・タイトル】 Present research findings  【キーワード】 Presentations  【到達目標】 Students can present their ideas and opinions concisely in English, written and orally.</p>	<p>Presentation  【注意点】  Students should actively prepare their presentation, asking questions of peers and teacher.</p>	<p>Students should choose a topic based on the lectures or other topics focusing on medical anthropology.</p>

<p>1/12 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Group Discussion Forum  【サブ・タイトル】 Present research findings  【キーワード】 Presentations  【到達目標】 Students can present their ideas and opinions concisely in English, written and orally.</p>	<p>Presentation  【注意点】  Students should actively prepare their presentation, asking questions of peers and teacher.</p>	<p>Students should choose a topic based on the lectures or other topics focusing on medical anthropology.</p>










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	日本語アカデミックライティング	授業形態	
英語科目名	Japanese Academic Writing	対象学年	1年
開講学期	2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	大野 早苗	ナンバリング	
担当教員	大野 早苗、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>日本語の特徴として、話し言葉と書き言葉が大きく異なること、また、場面や目的に応じて適切なスタイルを選ばなければならないことが挙げられる。本講義は、日本語でレポート等を書く力を涵養することを目的として、学術的な文章に適したスタイルや文章構成を学ぶ。</p> <p>講義は、①日本語や日本文化について論じた文献を読み、その内容について議論を通して理解を深める、②文献のまとめとしてのブックレポートを作成する、③受講者同士でブックレポートを確認し合い、必要に応じて修正を加える、というサイクルで行われる。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新書レベルの文章を読み、その内容を的確にまとめることができる。</li> <li>2. レポートに適したスタイルで文を書くことができる。</li> <li>3. 適切な文章構成で、文献のまとめと批評を書くことができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	本講義は、留学生や帰国生など、大学における学修のための言語としての日本語能力に関して補強が必要な学生を対象としたものである。第1回目の講義時に履修の可否を判断するので、履修希望者は必ず出席すること。
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	ブックレポート4回（60%） 平常点（20%） 期末レポート（20%）
------	---

評価基準	文献の内容を正しく読み取っている。（ブックレポート・期末課題） レポートに適したスタイルと文章構成で書いている。（ブックレポート・期末課題） 受講者同士の議論に積極的に参加している。（平常点）
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

ブックレポートについては、次回講義時にフィードバックを行う。  
期末レポートについては、Google Classroomを利用してフィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

1. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子（2009）『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版会  
ISBN:9784130820165  
2. 石黒圭・筒井千絵（2009）『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』スリーエーネットワーク ISBN:9784883195022

その他	
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] sanaeo*juntendo.ac.jp (*を@に変更してください)</p> <p>[オフィスアワー] 火曜3限</p>
担当教員の実務経験	
備考	新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
9/22 木 4限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 ガイダンス、日本語力チェック</p> <p>【サブ・タイトル】 レポートを書くために何が必要か</p> <p>【キーワード】 書き言葉、文章のスタイル、文章構成</p> <p>【到達目標】 自分の日本語運用能力を知り、今後、何を重点的に学ばなければならないかを理解する。 ブックレポートの書き方を理解する。</p>	講義	(予習) 話し言葉と書き言葉の違いについて、調べておくこと。
9/29 木 4限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 日本語の書き言葉</p> <p>【サブ・タイトル】 書き言葉成立の過程を知る</p> <p>【キーワード】 書き言葉、話し言葉、言文一致、国語教育</p> <p>【到達目標】 文献を読んで、現代日本語の書き言葉の成立事情を理解する。</p>	講義とグループディスカッション	<p>(予習) 柳父章『日本語をどう書くか』(法政大学出版局)を読んでおく。</p> <p>(復習) 文献の内容について、自分なりの考えをまとめる。</p>

10/6 木 4限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 日本語の書き言葉</p> <p>【サブ・タイトル】 ブックレポートを書く</p> <p>【キーワード】 書き言葉のスタイル、要約、批評</p> <p>【到達目標】 文献の内容をわかりやすくまとめ、批評を書く。</p>	講義	(復習) ブックレポートを読み返し、適宜、修正して 仕上げておくこと。
10/13 木 4限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 日本語の書き言葉</p> <p>【サブ・タイトル】 ブックレポートをブラッシュアップする</p> <p>【キーワード】 書き言葉のスタイル、要約、批評</p> <p>【到達目標】 受講者同士でブックレポートの改善点を指摘し合い、それをもとに ブックレポートを書き直す。</p>	講義・ペアワーク	(復習) ブックレポートを完成させる。
10/20 木 4限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 外来語</p> <p>【サブ・タイトル】 日本語の語彙構造の変化を知る</p> <p>【キーワード】 和語、漢語、外来語</p> <p>【到達目標】 文献を読んで、日本語の語彙構造の変化と外来語の定着について理解 する。</p>	講義・グループ ディスカッション	(予習) 小松英雄「日本語過保護論」(『ユリイカ』 1981年2月号所収)を読んでおく。 (復習) 文献の内容について、自分なりの考えをまと める。
10/27 木 4限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 外来語</p> <p>【サブ・タイトル】 ブックレポートを書く</p> <p>【キーワード】 書き言葉のスタイル、要約、批評</p> <p>【到達目標】 文献の内容をわかりやすくまとめ、批評を書く。</p>	講義	(復習) ブックレポートを読み返し、適宜、修正して 仕上げておくこと。

11/10 木 4限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 外来語</p> <p>【サブ・タイトル】 ブックレポートをブラッシュアップする</p> <p>【キーワード】 書き言葉のスタイル、要約、批評</p> <p>【到達目標】 受講者同士でブックレポートの改善点を指摘し合い、それをもとにブックレポートを書き直す。</p>	講義・ペアワーク	(復習) ブックレポートを完成させる。
11/24 木 4限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 「やさしい日本語」の源流</p> <p>【サブ・タイトル】 「やさしい日本語」成立の背景を知る</p> <p>【キーワード】 災害、多文化共生</p> <p>【到達目標】 文献を読んで、「やさしい日本語」成立の過程を理解する。</p>	講義・グループ ディスカッション	(予習) 野元菊雄「「簡約日本語」のすすめ-日本語が世界語になるために」(『月刊 言語』8巻3号所収)を読んでおく。 (復習) 文献の内容について、自分なりの考えをまとめる。
12/1 木 4限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 「やさしい日本語」の源流</p> <p>【サブ・タイトル】 ブックレポートを書く</p> <p>【キーワード】 書き言葉のスタイル、要約、批評</p> <p>【到達目標】 文献の内容をわかりやすくまとめ、批評を書く。</p>	講義	(復習) ブックレポートを読み返し、適宜、修正して仕上げておくこと。
12/8 木 4限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 「やさしい日本語」の源流</p> <p>【サブ・タイトル】 ブックレポートをブラッシュアップする</p> <p>【キーワード】 書き言葉のスタイル、要約、批評</p> <p>【到達目標】 受講者同士でブックレポートの改善点を指摘し合い、それをもとにブックレポートを書き直す。</p>	講義・ペアワーク	(復習) ブックレポートを完成させる。

<p>12/15 木 4限</p>	<p>大野 早苗</p>	<p>【授業タイトル】 言語の変化 【サブ・タイトル】 言語の変化をどう見るかを知る 【キーワード】 変化、ゆれ、乱れ 【到達目標】 文献を読んで、言葉は元来、変化するものであることを理解する。</p>	<p>講義・グループ ディスカッション</p>	<p>(予習) 小松英雄『日本語はなぜ変化するか-母語としての日本語の歴史』（笠間書店）を読んでおく。 (復習) 文献の内容について、自分なりの考えをまとめる。</p>
<p>12/22 木 4限</p>	<p>大野 早苗</p>	<p>【授業タイトル】 言語の変化 【サブ・タイトル】 ブックレポートを書く 【キーワード】 書き言葉のスタイル、要約、批評 【到達目標】 文献の内容をわかりやすくまとめ、批評を書く。</p>	<p>講義</p>	<p>(復習) ブックレポートを読み返し、適宜、修正して仕上げておくこと。</p>
<p>1/5 木 4限</p>	<p>大野 早苗</p>	<p>【授業タイトル】 言語の変化 【サブ・タイトル】 ブックレポートをブラッシュアップする 【キーワード】 書き言葉のスタイル、要約、批評 【到達目標】 受講者同士でブックレポートの改善点を指摘し合い、それをもとにブックレポートを書き直す。</p>	<p>講義・ペアワーク</p>	<p>(復習) ブックレポートを完成させる。</p>



<p>1/12 木 4限</p>	<p>大野 早苗</p>	<p>【授業タイトル】 総まとめ 【サブ・タイトル】 自分の書いたブックレポートを振り返る 【キーワード】 書き言葉のスタイル、要約、批評、アカデミックライティング 【到達目標】 アカデミックライティングの方法を改めてまとめ、期末レポートの課題を自ら設定する。</p>	<p>講義・グループ ディスカッション</p>	<p>(予習) 今までに書いたブックレポートを全て読み返し、日本語の書き方の基本をまとめる。</p>










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）